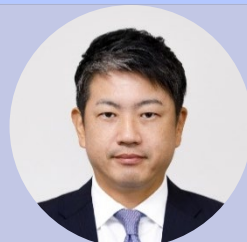




本社社屋／厚木センター／自社トラック

- 本社所在地：神奈川県海老名市
- 事業概要：倉庫業と運送業を両輪とした総合物流事業を展開
- 常時使用する従業員：326名
(グループ全体・2024年12月期)
- 現在の売上高：64億円
(グループ全体・2024年12月期)
- 法人番号：7021001073778
- Web：https://www.takara-soko.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
渡邊 慎也

物流業界の課題に挑み、輸送品質・対応力を強みに、 未来志向のパートナー企業を目指します

私たちは1969年の創業以来、神奈川県を中心に北海道から九州まで全国に拠点網を広げながら、各地域に根ざした物流サービスを提供してまいりました。倉庫業と運送業を一体で担う体制を基盤とし、現場を起点とした対応力と実行力を磨いてきたことが、私たちの大きな強みです。物流は、もはや経済を支える社会インフラといえます。私たちはその担い手として、安全・安心を基本に、変化するニーズに応えながら、社員・お客様・地域とともに歩み、物流を通じて誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2029年の売上高達成に向け、共同配送拠点として新倉庫を新設、インランドデポの整備、M&Aにより100億円への成長を目指す。



課題

- ・共同配送の仕組みの構築と実施における社内インフラ（人員・体制・システム）の整備
- ・DXを活用した人手不足対策や生産性向上の仕組みづくり
- ・医療、建材など新規分野の開拓と、専門性・対応力の強化
- ・国際物流における荷主ニーズの拡大に対応するための、保税・通関体制の強化
- ・北関東・中部・近畿エリアの拠点展開と、全国流通網の確立

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

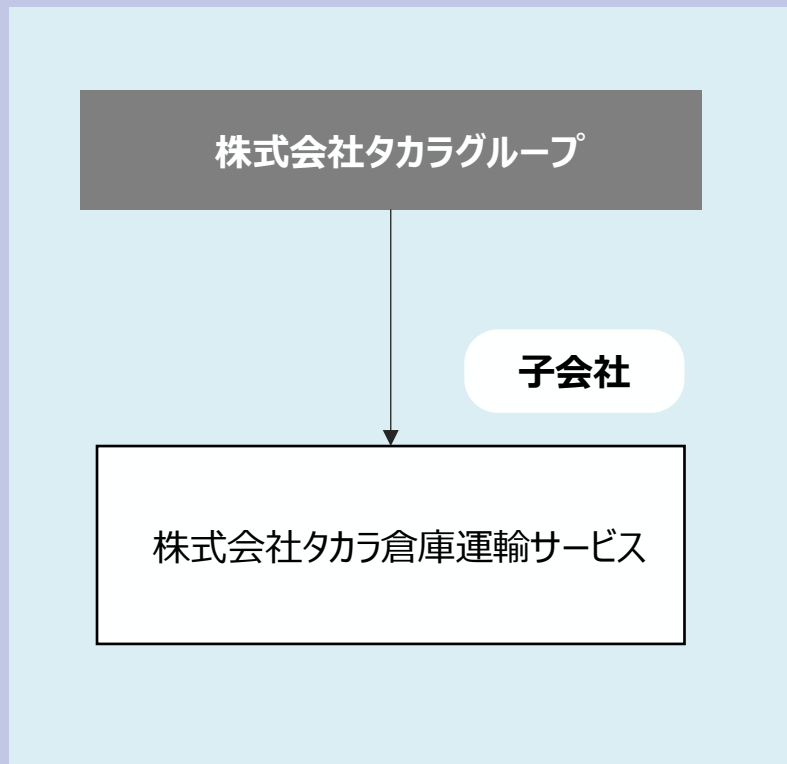
- ・海老名新倉庫への大型投資により、共同配送機能を強化し、処理能力と保管機能を向上、あわせてDX化と動線設計を実現し、物流全体の効率性を高める。
- ・医療・建材向けに当社の「安全・安心」品質を訴求し、対応力を強化。信頼構築による新規取引先との提携を推進。
- ・保税対応体制を整備し、検品・保管・配送を一体で運用することで、輸出入を伴う荷主の取り込みを図る。
- ・M&Aにより空白地域の拠点を補完し、拠点ごとに当社の安全・安心な品質を展開。全国規模での事業拡大を進める。

実施体制

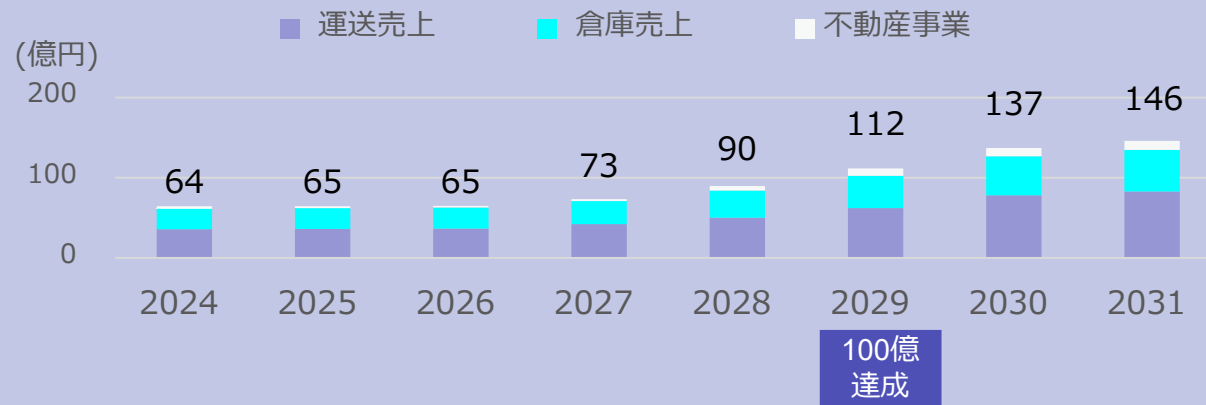
- ・海老名新倉庫の建設計画は、社長直下で経営管理部が中心となり各部門と連携して推進。建設は外部の専門業者が担い、DX対応に向けて情報管理部を新設、システム顧問を外部より迎え体制を整備。
- ・医療、建材を扱う荷主の新規開拓は営業本部体制のもと、倉庫・運輸の執行役員主導で推進。
- ・保税倉庫体制は新設の営業開発部にて国際物流会社から招聘した課長が中心となり進行。
- ・M&Aは経営管理部内に設置した経営企画機能を軸に、金融業界出身である副部長が推進。

売上高100億円を実現する企業グループの概要

以下の企業グループの体制にて
100億円実現に向けた宣言を行う



企業グループとしての売上高



企業グループ内の関係性と役割

(株)タカラグループ

- ・ (株)タカラ倉庫運輸サービスの親会社。
- ・ 倉庫の投資を行い、(株)タカラ倉庫運輸サービスの競争力強化に寄与。新たな投資を通じて収益基盤の安定化を目指す。

(株)タカラ倉庫運輸サービス

- ・ (株)タカラグループの子会社、総合物流事業を運営する。
- ・ 海老名新倉庫の自社給油所、システムの投資を行う。
- ・ 海老名における次世代型倉庫の稼働を起点に、共同配送・保税対応を強化し、総合物流事業の中核化を図る。